

1. 2) 高品質な臨床検査の保証

更新はニーズに合う機器導入

使用床面積288 m²

機器更新前 (2020年3月以前)

検体検査エリア配置図

検体検査エリアで48台の装置が稼働。
ISO 15189審査に備え、稼働台数の削減と更新前と同型機種を導入を検討。

1. 2) 機器とシステムの更新

Aptio Automation 搬送システム

- 更新機器は、更新前に比べて大幅な台数の減少を目標にした。
- 主要機器のAtellicaのみ2020年5月に搬入し、3か月間搬送未接続で業務を開始。

Aptio Automation
搬送システムを導入
7~8月まで工場ロックダウン
で搬入遅延

CS-5100 ① ②

採血管開栓装置

採血管閉栓装置

検体廃棄口

保冷库

検体投入装置

Atellica Solution ① ②

1. 2) 高品質な臨床検査の保証

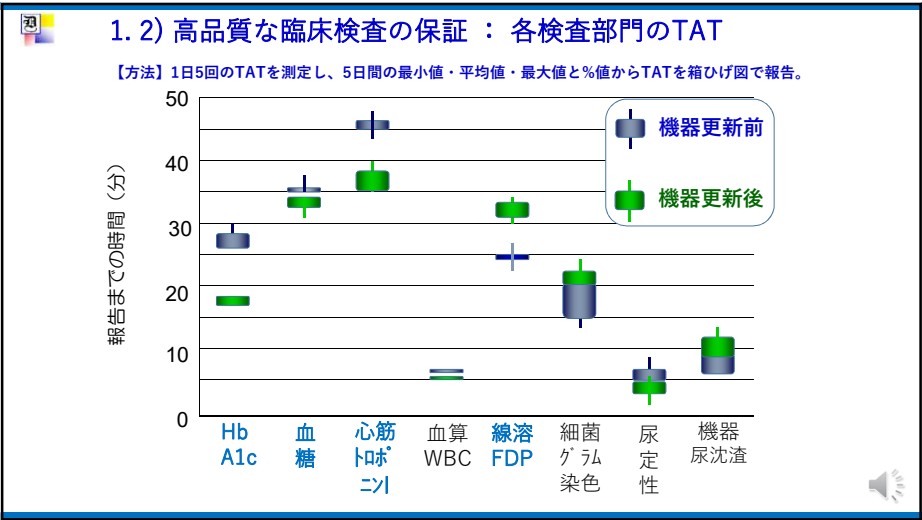
検査機器更新は、LISを除き2020年10月30日に完了

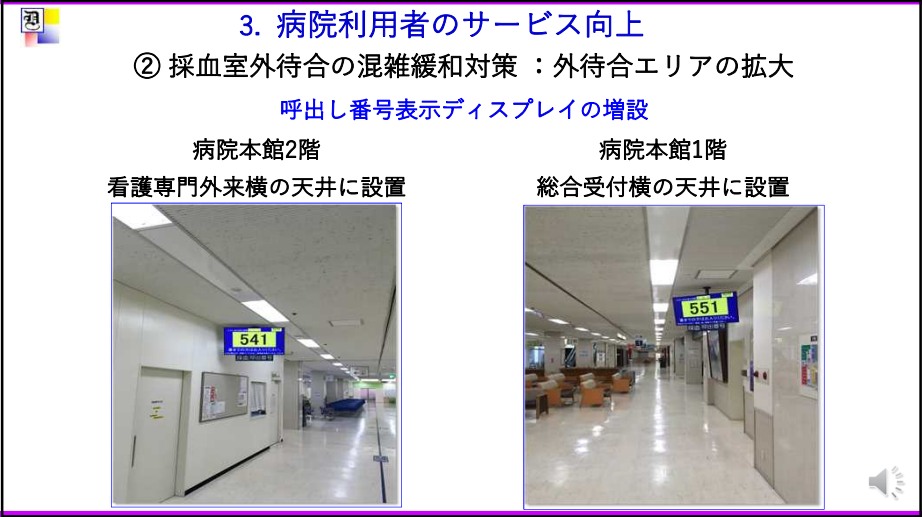
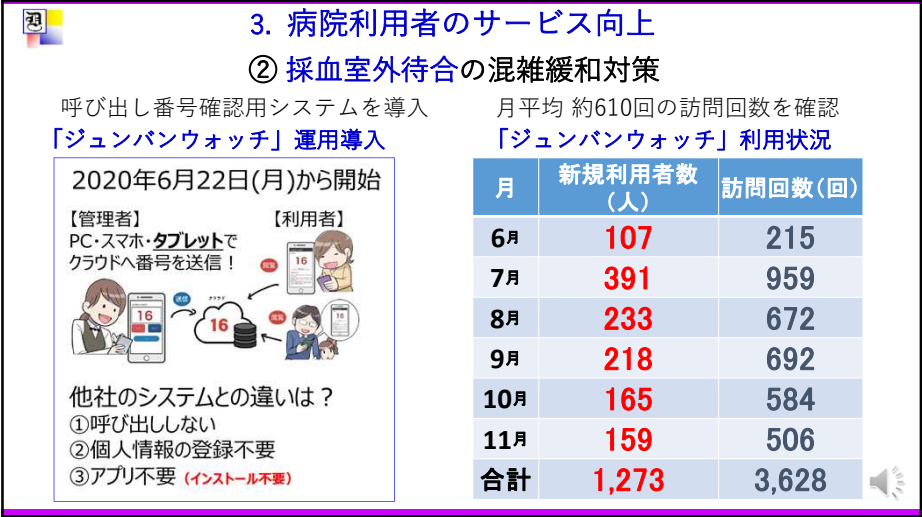
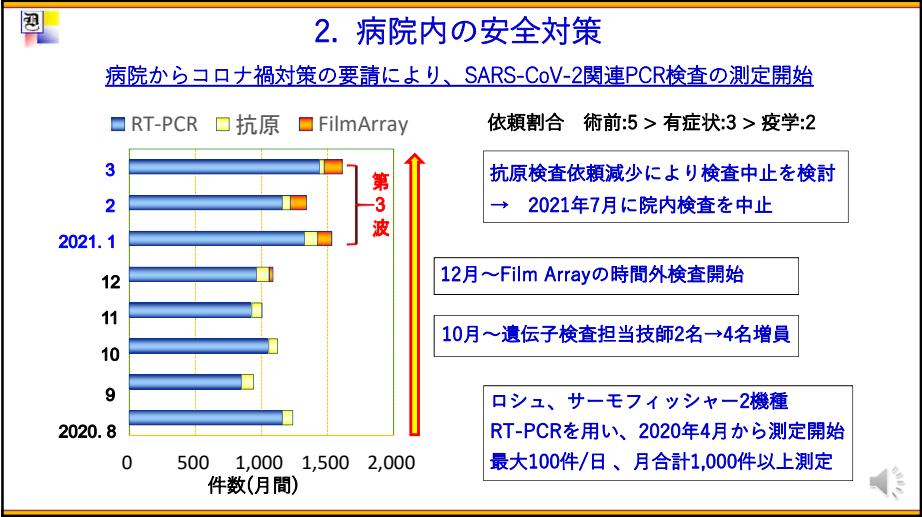
使用床面積216 m²

機器更新後 (2020年10月以降)

検体検査エリア配置図

更新前より10台減り、38台の装置を5月~11月に稼働。
但し、微生物・凝固検査のみ変更前と同型機種を導入





4. 臨床検査の最新情報を診療へ適切に提供 (電子カルテ院内LAN)

一次サンプル採取と検査前プロセス及び検査後プロセスを掲載

第8版 2021.7.1	第3版 2021.4.20	第2版 2021.3.8
<div>総合検査案内 2021 <small>QT 01-020-01(5.4.1/5.4.2)第8版</small> 獨協医科大学病院 臨床検査センター・輸血部</div>	<div>病理診断案内 2021 <small>QT 01-020-02(5.4.1/5.4.2)第3版</small> 獨協医科大学病院 病理部</div>	<div>生理機能検査 総合検査案内 2021 <small>QT 01-020-03(5.4.1/ 5.4.2)第2版</small> 獨協医科大学病院 臨床検査センター 生理機能検査 </div>

< まとめ >

コロナ禍の影響により突発的な事案が重複して発生したが、病院の協力を得ながら臨機応変に対処し、各事項の取り組みを概ね達成した。

- ▶ ISO 15189の継続審査と病理検査および生理機能検査の拡大審査は、病理部・輸血部と連携して、認定継続と新規認定を取得した。
- ▶ 機器の更新は6か月以上の計画遅延となったが、計画を綿密に立て、導入を完了した。最終的には、検査効率の向上を図ることができた。
- ▶ SARS-CoV-2関連PCR検査は、大量処理および迅速検査による適時報告運用を構築し、病院の安全対策に大きく貢献することができた。
- ▶ 外来採血室の混雑緩和対策は、採血台増設と番号確認用システム「ジューンバンウォッチ」の運用により、利用者のサービス向上が図れた。

今後も、ISO 15189取得を継続するために、品質マネジメントシステムを適切に維持し、安全で安心な臨床検査センターの運営を継続したい。